



終活のブックリスト

はじめての「終活」入門編

葬儀をしたくない人のための「終活」基本編

『卒業のために書き残すファイナルノートBOOK』林清子著 幻冬舎ルネッサンス
2012年12月刊

直接記述もでき、読み進めながらファイナルノートの作成ができます。表や写真がところどころに載せられ、一般的な費用も紹介されているため、葬儀のことなどがよりはっきりとイメージできる1冊です。

『おひとりさまの老後』上野千鶴子著 法研 2007年7月刊

老後、1人になったときにどうやって楽しく暮らしていくか。そのための準備や心構えがわかりやすく書かれています。この本は女性向けの本ですが、同著者から男性向けの『男おひとりさま道』という本も出ています。

『終活ハンドブックーこれだけ知っておけば安心！ー』本田桂子監修 PHP研究所
2011年8月刊

終活について、お金のこと、介護のこと、遺言書、葬儀と4つの視点から書かれています。終活に興味を持っている方からこれから終活を始めたいという方まで、幅広く読んでいただけます。

『我が老後』佐藤愛子著 文藝春秋 1993年6月刊

老後を迎えた著者が、自身の経験をユーモアや毒舌を交えながら語っていきます。娘との関係など共感しながら読むことができ、次第に元気が出てくる本です。全7巻。

『「終活」バイブルー親子で考える葬儀と墓ー』奥山晶子著 中央公論新社 2013年8月刊

終活をしたいと考えている人はもちろん、親が老後を迎える・迎えたと言う世代の方にもオススメです。親子で終活を考えるきっかけにすることができる1冊です。

その他にも図書館にはたくさんの資料があります。

どうぞご利用ください！

